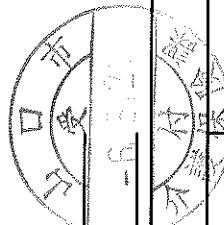


2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム秋穂あかり園

作成日: 令和6年3月1日



【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	20	地域資源の把握と活用が出来ていない。	地域資源リストの作成を行う	コロナ禍で希薄になった地域とのつながりを積極的に地域に出かけていくことで構築する。認知症カフェの活用を行い地域と関わりを増やす。 地域資源リストの作成を行う	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意識をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念を事業所の理念とされている。それに基き年度ごとに目標をユニット毎に定めて、理念と一緒に掲示している。目標は職員の目に留まる業務日誌に記載している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お大師参りや初詣に参加することができた。今年コロナで中止になっていた中学生の職場体験を受け入れ、認知症への理解や支援の話が出来たように思う。近所のスーパーに買い物へ行ったりはしているが、地域の一員として日常的に交流は出来ていない。	地域への行事の参加をしていく避難訓練や防災訓練に地域の方々に参加してもらえようと呼びかける地域の方々とつながりを作るきっかけづくりをする		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	紙面での運営推進会議だったが、今年度より集合形式の会議が再開された。議事録にまとめ、会議等で報告し職員に周知してもらい、サービス向上に活かしている。	集形式の推進会議を再開したが、グループホームとは別の場所で会議を行っているため、実際の様子が感じにくい 面会制限がなくなれば、気軽に面会に来て頂く取り組みを地域との交流(園児、小学、中学生などを含めて)を徐々に再開していく		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者・地域担当の地域包括支援センターと情報交換して連携をとっている。	地域包括支援センターの方々には運営推進会議に毎回参加していただいており、情報交換をおこなっている引き続き行っていく		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対応となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄關の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接施設と合同で行う身体拘束廃止委員会にも出席し、事業所の会議で復命をしている。スピードチェックについて気になる場合は、管理者や計画作成が注意するだけではなく、職員間でも注意しあっている。玄關には施設			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

				せず、外出したい利用者がいれば一緒に出かけている。				
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コンプライアンスルールの中で、具体的な行為について明記されており、事業所内に掲示している。内部研修を行ない、職員の資質向上に努めている			<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前、権利擁護を利用する利用者が入居されたため計画作成担当者は学ぶ機会があったが、全職員が理解を深める機会をまだもてていない。				
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設の概要や料金など、インフォメーションの冊子を準備し説明を行っている。契約の締結、解約又は改定の際は利用者や家族とじっくり話し、説明する機会を設けている。不安や疑問点を尋ねるとともに、不安な点があれば連絡しただくよう伝えている。				
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に苦情受付や、第三者委員の説明を行っている。LINEを家族との通信手段として取り入れた事でご家族からも意見を言いやすい環境になったと感じる。利用者からの意見要望は、話しやすい雰囲気づくりに努め、聞いた内容はユニット会議で話し合い、よりよい関係作りに努めている。			<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は毎月の全体会議の中で、意見交換を行なっている。要望を聞く機会を設けている他、日常業務で話し合える雰囲気作りを努めている。				

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の増員により、職員の体調等、配慮された勤務体制にはなっている。研修等は施設負担にて参加している。	小さい子供がいても働きやすい環境 職員の笑顔が見られるのがいい職場だと思ふ
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実態と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内でケア向上委員を中心に、全体会議・ユニット会議内にて実施しているが、一人ひとりのケアの実態と力量を把握したうえででの研修についてはまだまだ不十分である。外部研修はコロナの影響でほとんど参加出来ていなかったが、今後は参加していきたい。	日々の申し送りを充実させるだけでも職員を育てる取り組みになる 人を育てる取り組みについてはあまり出来ていない
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で交流の機会が、ほとんどなかったが、双方の運営推進会議に参加して意見交換するなど、交流の機会を増やしている。	
14	本人と共に過ごし支えあふ関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅の延長だと思えるように、職員と利用者という関係ではなく、一緒に生活しているという思いの元、お互いが感謝し合える関係作りを築けるよう努力している。生活の知恵、風習、地域のこと等を職員が教わる場面も見られる。	
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	窓越し面会から居室での面会を再開している。県外からの面会も実施できている。お大師参りや初詣にも行くことができた。移動販売を利用し、仲の良かった人と交流できるようにしている。	地域資源のリストを作成し、交流の場をひろげる

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方への希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いを伝えやすい環境を作り、生活の中で話されたこと、喜ばれたことなどを「ケース記録」に記入して、希望や意向の把握に努めている。困難な場合は、発言や行動、表情等から推測し、職員間で話し合い検討している。必要な場合はユニット会議にてカンファレンスを実施している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画作成担当者、利用者を担当する職員を中心に作成している。本人・家族の意向、職員の意見を参考にしている。毎月、計画の評価・反省を行ない、半年毎に見直している。本人の状態に変化があった場合はその都度見直し、現状に応じた介護計画を作成している。計画作成から日々の状況をお手紙で報告したりLINEの活用も継続している。	利用者の体調や様子の報告、相談、家族からの連絡や相談などにLINEの活用が役に立っている 年に1、2回 面談ができるようになる(家族が選択できる環境を作る)	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝・夕の申し送り、個別のケース記録を読む。利用者へのケアの仕方・気付きがあった場合は何でもノートを活用し、職員間で情報共有している。日々の実践に活かすようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	両ユニット集まっての申し送りを始めた
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて、家族と一緒に受診や入退院の付添、場合によっては職員対応で他科受診への付添を行っている。	かかりつけ医や受診の方法や重層化した場合について、他のグループホームの現状を聞いた		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身のカギを發揮しながら安全で豊かな暮らしを築くことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分に地域資源を活用できていない。各職員が地域の活動、資源を知り、地域資源を活用していく方法を検討していきたいと思っている。	地域資源のリストづくり		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣のクリニックの閉鎖に伴い、かかりつけ医として利用していた方は同法人内の病院から往診という形で継続してもらっているが定期的な検査等難しく十分な体勢とはいえない。入居前から他院をかかりつけ医としていた方は、本人・家族も納得し受診をしている。他院受診していた方が、その病院の往診に切り替えた方もいる。				
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には家族了解のもと病院に情報を伝えている。地域連携室との連携を取り合うことで、退院時も安心できる受け入れ体制作りに努めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院との連携をしっかりとっている必要であれば退院時の病院のケアプランに参加している	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に、事業所で行える対応について説明し、又実際に重度化した場合は家族との話し合い、主治医や職員等の話し合いを経、方針を決め、取り組むこととしている。何かあればその都度話し合いをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接施設合同で月1回定期的な事故防止検討委員会を行い、ヤリハットや事故報告などを行い情報共有し事故防止に努めている。 内部研修や視座研修で応急手当や初期対応の訓練を行っているが、全職員が実践力を身に付けるまでには至っていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力を構築している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同一敷地内の特別養護老人ホームやケアハウスと共に防災訓練を実施している。地域にある消防署と連携はあるが、地域との協力体制は今後の課題である。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との連携がとれていないので協力体制が築けていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誇りを損ねない言葉掛けや対 応には注意をしているが、充分で はない。気になる点を職員間で話 し合い、職員一人ひとりの意識づ けが必要である。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希 望や意向、暮らしのペースを大切に、そ の日をどのよう過ごしたいか、希望に そって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間や食事・起床時間等、 なるべく本人の希望に沿うよう努 めているが、職員の都合で行って いることもある。	
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は三食、事業所で調理して いる。朝食は利用者の好みを聞 いて、買い物へ行き調理してい る。昼食と夕食は隣接施設の管 理栄養士が作成した献立を見な がら調理している。準備・味付け・ 盛り付け・片付けまで能力に応じ 一緒に行っている。食事の前 は、利用者からの要望で、献立 の紹介、皆さんで「いただきます」 と唱和し、食事を始めるようにし ている。午前中のティータイムに は好きなものを飲めるようメニ ューの充実を図り、誕生日会、おや つ作り等、食事が楽しみなものに なるよう支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼食・夕食については管理栄養 士が献立を立てている。食事摂 取量については毎食チェックしてい る。必要に応じて刻み食を提供し ている。食事量の少ない方には、 栄養補助食品や野菜ジュースな どを提供している。水分摂取量の チェック表を作り、摂取量を把握 している。	

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、声掛けや介助にて口腔ケアを実施している。夜間は歯を預かり洗浄・消毒を行っている。訪問歯科の活用を行ない口腔ケアに努めている。別に月1度歯科衛生士の訪問があり、口腔機能維持管理にかかわる助言を受けている。	食餌前の口腔体操を取り入れている 歯科衛生士より口腔維持管理に関わる助言は記録に残して職員で共有している
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄子エック表にて排泄パターンの把握に努めている。必要に応じて定期的にトイレ誘導を行っている。排泄、パットの状況確認を行っている。日頃から水分摂取を促し、ヨーグルトやココアを活用して、なるべく薬に頼らないようにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日入浴できるようになっている。入浴の日や時間は希望を出るだけ聞きいれるようにしているが、夕方以降の入浴はほとんど実施できていない。利用者の状態に応じて、清拭・シャワー浴・足浴等の対応もしている。	
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活習慣に合わせて、日中横になりたい方には横になっていたいたり、エアコンの活用をしたり、夜間不安な時はじっくり話を聞いたり、その情報を職員間で共有し、対応を検討している。	
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お薬手帳、処方の内容を書いた用紙を個人別に分けて職員間で確認できる状態にしている。翌日分を夜勤者がセットし、運出が再チェックを行ない、服薬時の確認、服薬後薬袋の確認と4回チェックしている。薬の変更があった場合には、薬による変化がないか職員同士で把握・連携をとり、	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	迷ってしまう方のために、トイレや居室が分かるように表示している。利用者の作った貼り絵や季節感のある飾り、行事の写真を掲示している。空間作りにのれんやカーテンを活用している。対面式の台所で家事を一緒にしたりすることで、生活を共にしていると感じてもらっている。テレビの周りや廊下に椅子やソファアーム、居間は掘りごたつを配置しており、利用者が悪い思いにくつるようになっている。	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)					
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	思いや願い等、意見を言いやすい環境作りに努め、意向に沿った暮らしが出来るように努めているが、それぞれの意向に沿っているか、言葉にできない方の意向をくみ取っているかなどなればあまり出ていない	
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	本人や家族、入居前のケアマネージャーからの情報を元に支援している。面会を積極的に受け入れたり、近隣施設からの入居者には、友人に会える機会を作っている。	
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	毎朝のバイタル測定や、日頃の様子を職員間で共有し、必要に応じて専門医の受診や往診を利用している。	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	各利用者のペースに合わせて、臥床する時間や自室で過ごす時間を作る等、生活習慣に合った過ごし方が出来るように努めている。	

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室には、自宅にあったものや使い慣れたもの、なじみのある物等、自由に持ち込んでもらっている。									
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員からの提供による場合が多いが、利用者からの発言で外出する時もある。利用者の意向や希望に沿って、外出や地域の行事に参加している。少しずつではあるが、少人数での外食もできている。	利用者のその時の希望に添えるようにする								
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者に合わせて、出来ることを提供し、役割が持てるようにしている									
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者と一緒に過ごせるよう配慮したり、職員を交えて会話をしたり活動する時間を設けている									
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	屋外に出た時に出会う人との交流はあるが、関わる機会は少ない	まずは、グループホームの面会などを含めた受け入れ態勢の緩和も地域資源のリストもともに交流する機会をつくる								
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であったため地域の人と接する機会は作れていないが、職員との関係は築けていると思う。安心して過ごせるよう、各利用者への何を望まれているのか、職員同士で話し合ったり、思いを受けとめるように努めている。	地域の人と接する機会を作る為に地域資源の把握、リストの作成を行う 認知症カフェを始めると、地域との関わりを作っていくきっかけづくりになればいい								